



Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
March 24, 2021

目次

Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ	1
クイックスタート	1
要件	3
新しいシステムでの Cloud Backup の有効化	3
既存のシステムでの Cloud Backup の有効化	4

Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Azure Blob Storage へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

構成がサポートされていることを確認します

- Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降を Azure で実行している。
- バックアップを格納するストレージスペースに対する有効なクラウドプロバイダのサブスクリプションが必要です。
- に登録しておきます ["Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"](#)またはを購入したことが必要です ["アクティブ化されます"](#) NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。

新規または既存のシステムで **Cloud Backup** を有効にします

- 新しいシステム： Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。
- 既存のシステム：作業環境を選択し、右パネルの Cloud Backup Service の横にある * Activate * をクリックして、セットアップ・ウィザードに従います。



プロバイダの詳細を入力します

プロバイダサブスクリプションを選択し、新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを使用するかを選択します。

Provider Settings

Azure Subscription

Azure_Subscription_1

Resource Group

☐ Create a new ☒ Use an existing

Select an Existing Resource Group

Resource_Group_1

バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。週単位または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からいくつかのオプションを選択します。

Define Policy

Policy - Retention & Schedule

☒ Create a New Policy ☐ Select an Existing Policy

Backup Every: Day

Number of backups to retain: 30

DP Volumes
Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

Storage Account
Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes（ボリュームの選択）ページで、バックアップするボリュームを特定します。

必要に応じて、データをリストアします

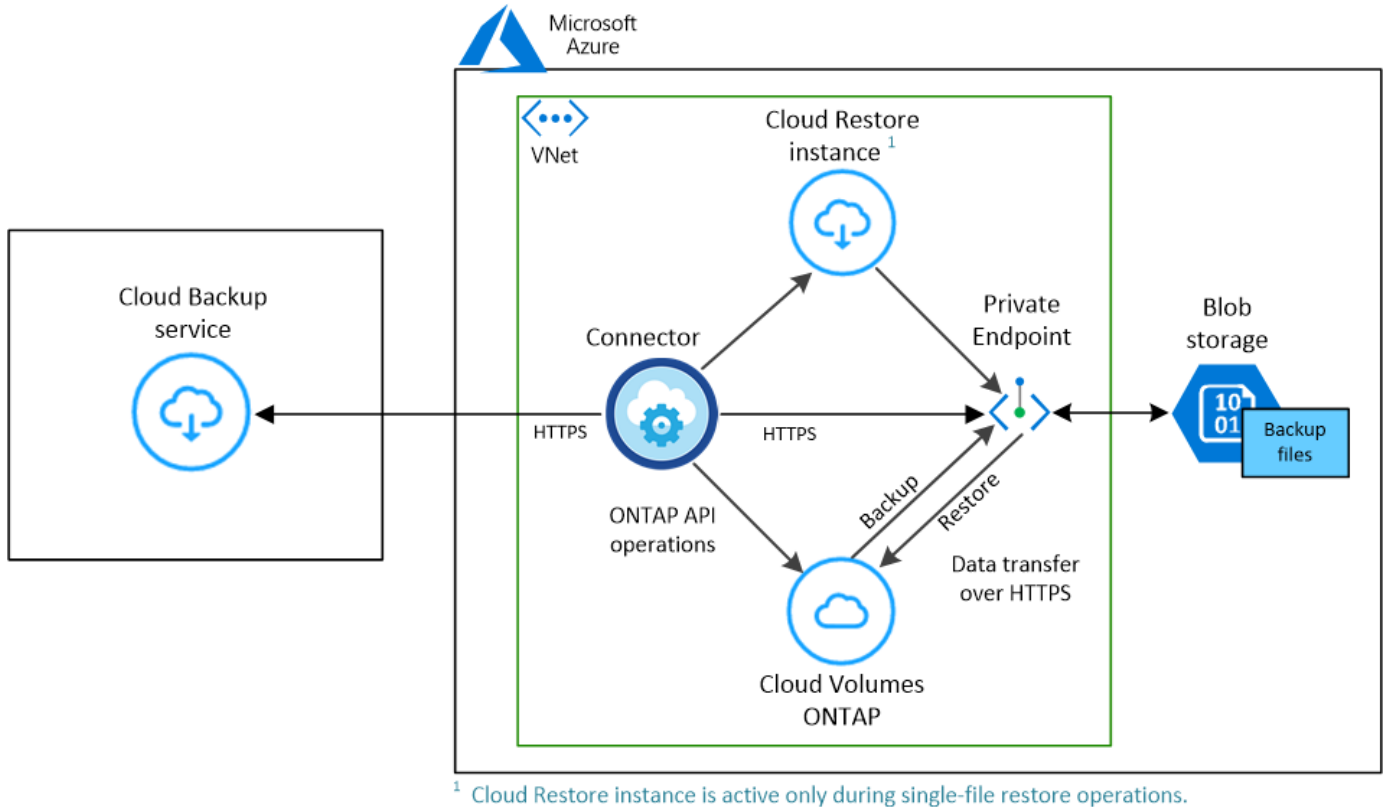
バックアップ全体を新しいボリュームにリストアするか、またはバックアップから既存のボリュームに個々のファイルをリストアするかを選択します。データは、Azure 内の Cloud Volumes ONTAP システムまたはオンプレミスの ONTAP システムにリストアできます。

を参照してください ["バックアップファイルからのボリュームデータのリストア"](#) を参照してください。

要件

Azure Blob Storage へのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を確認し、サポートされている構成であることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



サポートされている **ONTAP** のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降。

サポートされている **Azure** リージョン

Cloud Backup はすべての Azure リージョンでサポートされます ["Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合"](#)。

ライセンス要件

Cloud Backup BYOL ライセンスを使用するには、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できるように、ネットアップから提供されたシリアル番号が必要です。を参照してください ["バックアップ BYOL ライセンスを追加および更新する"](#)。

また、バックアップを格納するストレージスペースには、Microsoft Azure サブスクリプションが必要です。

新しいシステムでの **Cloud Backup** の有効化

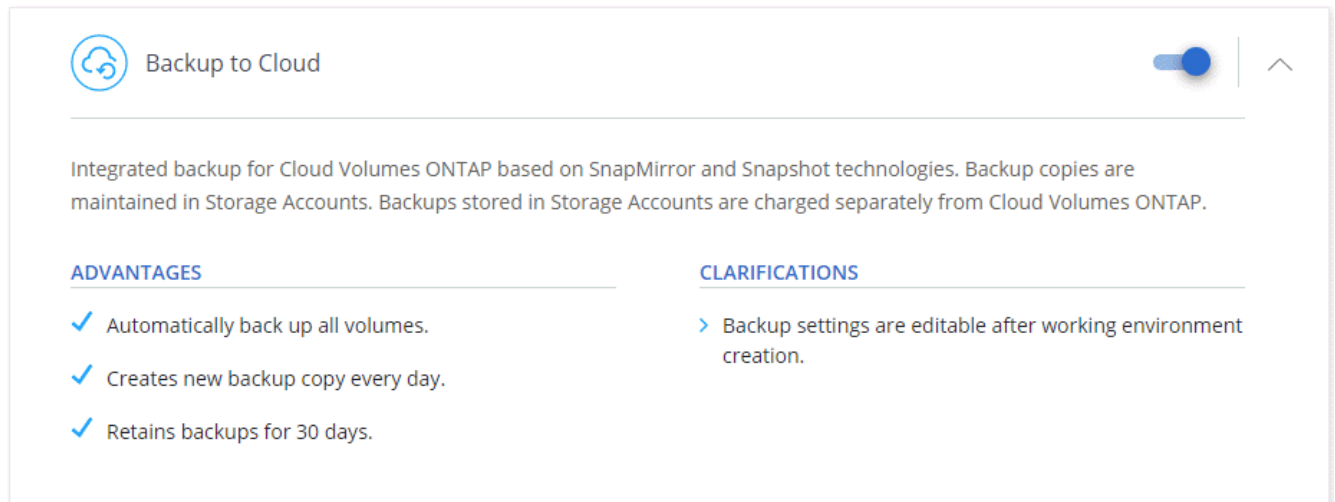
Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。



リソースグループの名前を選択する場合は、Cloud Volumes ONTAP を導入する際に * disable * Cloud Backup と入力します。の順に従います [既存のシステムでの Cloud Backup の有効化](#) Cloud Backup を有効にしてリソースグループを選択します。

手順

1. [Cloud Volumes ONTAP の作成 *] をクリックします。
2. クラウドプロバイダとして Microsoft Azure を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
3. 詳細とクレデンシャルのページに必要事項を入力し、Azure Marketplace サブスクリプションが登録されていることを確認します。
4. [サービス] ページで、サービスを有効のままにして、[* 続行] をクリックします。



5. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します。

Cloud Backup はシステムで有効になり、ボリュームを毎日バックアップして、最新の 30 個のバックアップコピーを保持します。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます [スケジュール](#)" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

既存のシステムでの **Cloud Backup** の有効化

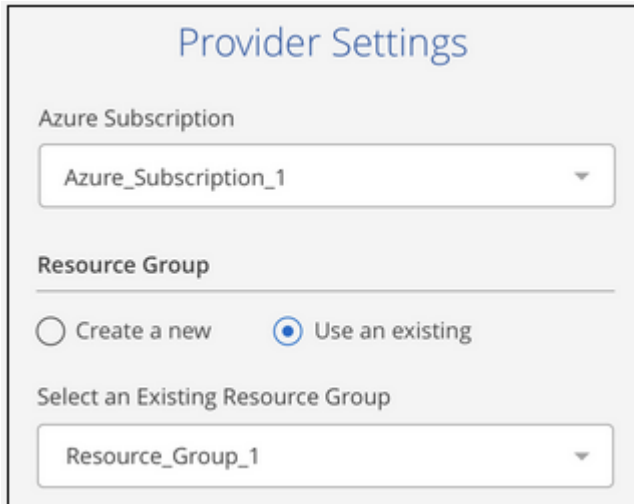
作業環境から Cloud Backup をいつでも直接有効にできます。

手順

1. 作業環境を選択し、右パネルの Cloud Backup Service の横にある * Activate * をクリックします。



2. プロバイダの詳細を選択します。
 - a. バックアップの格納に使用する Azure サブスクリプション。
 - b. リソースグループ - 新しいリソースグループを作成することも、を選択して既存のリソースグループを選択することもできます。
 - c. [* Continue (続行)] をクリックします。



Provider Settings

Azure Subscription

Azure_Subscription_1

Resource Group

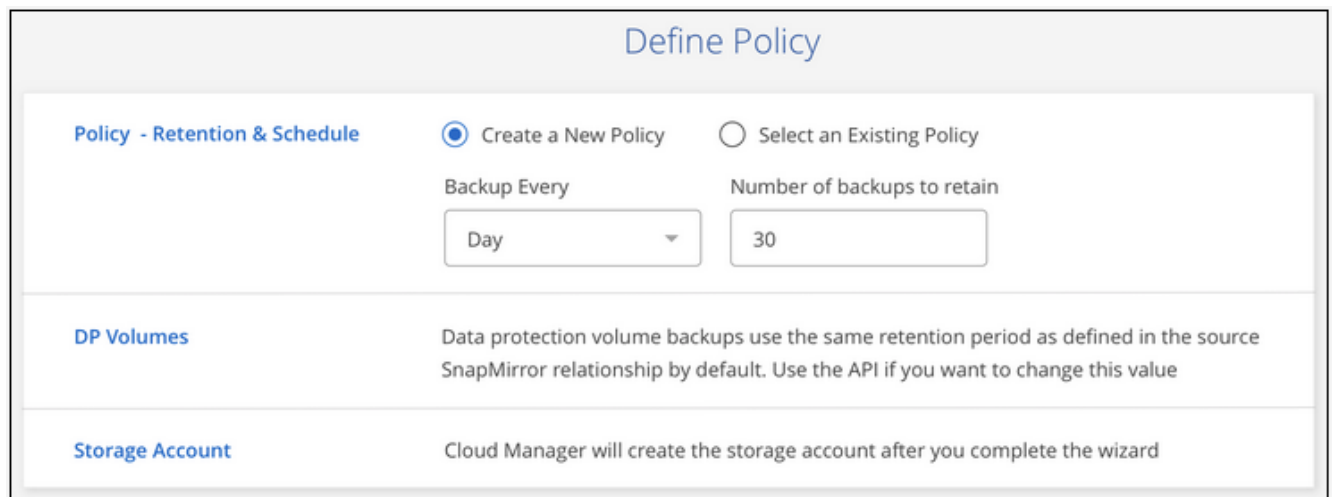
☐ Create a new ☒ Use an existing

Select an Existing Resource Group

Resource_Group_1

サービスの開始後に、サブスクリプションまたはリソースグループを変更することはできません。

3. [Define Policy] ページで、バックアップスケジュールと保持の値を選択し、[* Continue *] をクリックします。



Define Policy

Policy - Retention & Schedule

☒ Create a New Policy ☐ Select an Existing Policy

Backup Every: Day

Number of backups to retain: 30

DP Volumes

Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

Storage Account

Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

を参照してください ["既存のポリシーのリスト"](#)。

4. バックアップするボリュームを選択し、* Activate * をクリックします。

Select Volumes								
57 Volumes Q								
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	Disk Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Volume Status	
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_1	RW	GP2	SVM_Name_1	2.25 TB	10 TB	Active	
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_2	RW	GP2	SVM_Name_2	2.25 TB	10 TB	Active	
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_3	RW	GP2	SVM_Name_3	2.25 TB	10 TB	Active	
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_4	DP ⓘ	GP2	SVM_Name_4	2.25 TB	10 TB	Active	
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_5	RW	GP2	SVM_Name_5	2.25 TB	10 TB	Active	

- ° すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行 (☒ Volume Name)。
- ° 個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス (☒ Volume_1)。

Cloud Backup は、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成を開始します。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.